



おざきももか
尾崎萌々香さん

●多田小6年
心から喜ばれる
美容師に

私の将来の夢は、母のような美容師になることです。私のかみの毛は、いつも家で母が切ってくれます。かみを切るときのはさみの音がとても心地よくて大好きです。

母は、お客さんのかみをその人に似合うように一生けん命切っています。お客さんから「みんなにいいかみ型だねとほめられたよ。」と言ってもらうと、うれしくてつかねなど忘れてしまうそうです。

私もお客さんの要望にこたえられ、心から喜んでもらえる仕事をしたいと考えています。

みんなの広場に
出てみませんか？

「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。
※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■問合せ 政策調整課広報広聴係
☎(20)3037

Q ご結婚何年目ですか
A 昭和37年に結婚し、今年で51年目になります。
Q これまでで印象に残っている出来事は
A 結婚と同時に開業しましたので、毎日を必死に過ごしてきた51年です。
いろいろな人に「ありがとう」と感謝する毎日ですが、特に妻にはその気持ちでいっぱいです。
Q 夫婦円満の秘訣は
A 健康に留意することです。元気でいると、気持ちも明るく保てますから。
Q 今後の抱負は
A 80歳になったこれからの生活を新たなスタート

めおと人生
meoto life

りいちろう
正田 利一郎さん(80歳)
やえこ
八重子さん(77歳) 金屋下町



「ありがとう」と「チャレンジ」の毎日

として、歳をとつても自立した一人として、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。
A 今後も健康に過ごし、夫とともに人生を楽しみたいです。
Q 若者へのメッセージを
A 恐れず、実際に行動してみてください。そして失敗しても、あとに残さず、またチャレンジしてください。常に好奇心をもつて、チャレンジし続けてください。
常にチャレンジする利一郎さんを、ずっと支え、寄り添ってきた八重子さんのご夫妻。
これからもお幸せに。

今回の表紙 「根古屋森林公園の鯉のぼり」(飛駒町)

4月16日撮影



5月3日(祝)に行われる「鯉来まつり」(こいこいまつり)にちなみ、根古屋森林公園では4月14日(日)から5月12日(日)の間、鯉のぼりが掲げられています。

晴天となったこの日は、たんぽぽや菜の花の黄色い花々と共に、鯉のぼりがそよいでいました。

ますだあさみ
増田麻美さん



○プロフィール
平成元年9月生まれ。
2012年度ミス日本
コンテストでミス日本
「海の日」に輝く。同年
1月より佐野ブランド
姫として活躍。



「佐野の良さを全国に 伝えたい」

ファッションモデル・お天気キャスター、そして佐野ブランドを広くPRする「佐野ブランド姫」として活躍する増田さん。市で開催されるイベントなどで、司会を務める姿を見たことがある方も多いのではないのでしょうか。まさにモデル！という外見ですが、「実は、ずっと教師になりたいと思っていたんです」と意外な一面も。

大学在学中にファッションイベント「ガールズアワード」の「シンデレラガールオーディション」でグラプリを獲得。雑誌やショーに出演するようになり「こういう世界もあるんだ」と憧れをもつようになったそうです。その後も教師かモデルか進路を悩み続けましたが、自分を試してみようと応募した2012年度ミス日本コンテストでミス日本「海の日」に輝きます。

増田さんは「これからもいろいろなことに挑戦してみたい。モデルとして、ファッションショーには積極的に出ていきたい。また、体を動か

さのまるとともに活躍されている
佐野ブランド姫・増田麻美さん



すことが好きなので、スポーツキャスターの仕事もしてみたい。そして佐野ブランド姫としては、市外の方にはもちろん市内の方が見過ごしてしまうような『佐野の良さ』を伝えていきたい。佐野にはおいしいものが沢山ありますからね」と話します。

現在、佐野を拠点に活動をする増田さん。東京や地方などへ撮影に出かける忙しい中でも、日々の食事や運動、睡眠時間などには気を遣って体調を整えているそうです。

さらさらと笑顔がまぶしい増田さん、若い女性ならではの視点で、どうぞ佐野を盛り上げていってください。佐野ブランド姫就任一周年、おめでとうございます。今後の活躍を期待いたします。

市長からの メッセージ



風さわやかに、新緑が目にしみる季節となりました。先月は、入学式、入社式、人事異動などがあり、せわしない感じでしたが、ようやく落ち着いて仕事に取り組めるようになりました。市長選挙・市議会議員選挙も終わり、市政の執行体制・推進体制も固まりました。今年は総合計画「中期」基本計画の最終年度にして、「後期」基本計画策定の年です。しっかりと腰をすえて構想を練るとともに、市勢伸展を図るべく着実に慎重に事務事業を進めていきたいと思っています。

さて、4月21日には、出流原の磯山弁財天の御開帳がありました。この弁財天には白蛇が祭られています。白蛇は富をもたしてくれろという言い伝えがあり、水の神様でもあることから、弁天池と誠に良く調和しています。古式ゆかしき稚児行列なども行われ、多くの人出でにぎわいました。地域の祭典として、佐野市の誇れる観光資産として、これからも大事にしていきたいですね。

また、毎年の恒例となっている「佐野市民京都バスの旅」も第30回の節目を迎えます。私も5月14日・15日にお伺いをし、佐野ふるさと特使である小堀光詮ご門主にお会いする予定です。何度お聞きしてもご門主のお話は滋味あふれて心にしみます。一昨年の大震災以来、何かと佐野市を気にかけて頂いておりますことに、参加される市民の皆様とともに感謝を申し上げます。きたいと思っています。

暖かな陽気に誘われて、散歩やスポーツなど、戸外活動をされる方も多くなるでしょう。日焼け対策を万全にして、初夏のひと時をお楽しみください。

岡部 正英